

**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ラコビア公立高校通学バス整備計画」
贈与契約署名式**

２０２２年１月２０日、教育・青年省において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ラコビア公立高校通学バス整備計画」の贈与契約署名式が開催されました。

藤原大使は、挨拶の中で、人づくり無くして国づくりはできないことを述べ、誰一人取り残さない教育の重要性を強調しました。また、本事業を通じて同校生徒の教育へのアクセス環境が大きく向上することを期待すると共に、日本は学び合いを通じた質の高い教育の実現を目指し「みんなで支えるみんなの学び」をビジョンとして掲げていることを示し、国家の成長に必要な、持続可能な社会経済発展を向上させる為の協力を更に深めていきたいと述べました。

本件事業は、セント・エリザベス県ラコビア町に位置するラコビア公立高校に２９人乗りの通学バス２台を整備し、遠隔地に居住する生徒に通学手段を提供することで、同地域の生徒の学習機会を確保し、もって同地域の学力向上に寄与するものです。

今般の署名式には、被供与団体の代表、ウィリアムズ教育・青年大臣、国家教育基金関係者、学校関係者、報道機関関係者などが出席しました。



本支援の意義を述べる藤原大使



挨拶をするフェイバル・ウィリアムズ教育・青年大臣



日本の支援に感謝を述べるリカード・ベネット・ラコビア公立高校校長



詩で日本への感謝を披露したラコビア公立高校の生徒代表



署名する藤原大使とリカード・ベネット・ラコビア公立高校校長



小切手授与